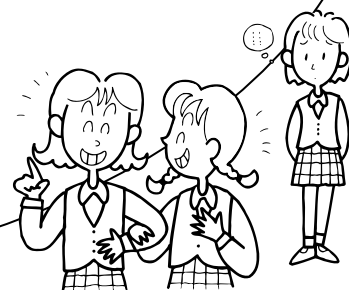
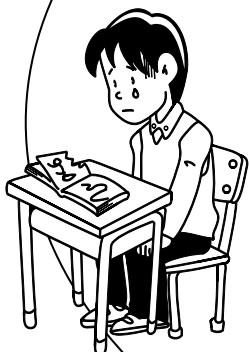


いじめを発見するために

(いじめはどの学校にも、どのクラスにも、どの子どもにも起こりうることを意識しましょう)

学校で見られるいじめのサイン

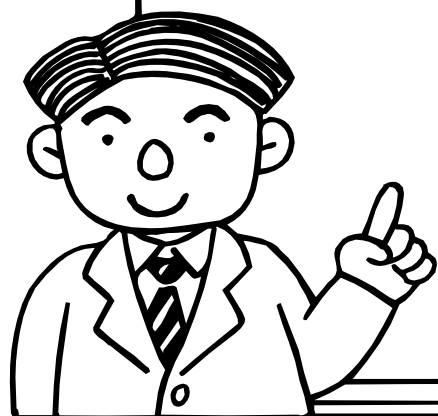
- 理由もなく、1人で朝早く登校する。登校が始業ぎりぎりになる。
- 欠席、遅刻、早退が増える。放課後、急いで一人で帰宅する。
- 用もなく職員室に頻繁に来る。職員室の前をうろうろしている。
- 教職員を避ける。
- 保健室に出入りすることが多くなる。
- 教室移動のときなど、一人で教室に入ってくる。
- 授業中発言をしたら、理由もなく笑われる。
- 昼食や班学習のとき、席を離れている。
- 清掃時、椅子や机がぽつんと残る。
- 声をかけるとびくっとする。返事がない。口数が少なくなる。
- イライラして反抗的になったり、攻撃的になったりする。
- 刃物など危険なものを持つ。
- 紛失物が多くなる。



上記のようないじめのサインを、子どもたちが発していないか気をつけて見ていきます。↓

このようなサインが見られれば、子どもに声をかけ、困っていることがないかを尋ねるなど、注意深く見守るとともに、一人で抱え込まず、()先生(学年主任・生徒指導担当等)に相談します。

一人で抱え込まず、組織的な対応を行うためには、普段から何でも相談できる関係づくりが大切です。



「いじめ防止対策委員会」

- 対応の検討
- 役割分担

いじめを受けた子どもやその保護者の心情に寄り添った校内の対応。家庭や関係機関等との連携。

